

## 地方独立行政法人山梨県立病院機構 第1回理事会 議事録

1 日 時 令和元年6月24日(月)午後4時00分～午後4時50分

2 場 所 県立中央病院 2階 理事長室

3 出席者 理事長 小俣政男

理 事 神宮寺禎巳、宮田量治、内藤正浩

監 事 加藤隆博、柴山聡

(欠席者 なし)

(出席者 理事長・理事 計4名。今理事会は定足数を満たし成立した。)

### 4 会議次第

(1) 理事長あいさつ

(2) 議 事

### 議 事)

#### 規程改正について

○議 長

初めに、規程改正についてについて説明願います。

○事務局

—規程改正について説明—

#### 資料1 職員給与規程

山梨県職員の給与に関する規則等の一部改正に鑑み、給料の調整額の調整基本額を改定するため、「職員給与規程」の一部改正を行う。

施行期日は令和元年6月24日からとし、平成31年4月1日より適用する。

#### 資料2 使用料及び手数料規程

次のとおり「使用料及び手数料規程」の一部改正を行う。

①消費税法の改正に伴う料金改定

施行期日は消費税率の引き上げ日からとする。

②画像データの提供等の所要の改定

施行期日は令和元年7月1日からとする。

採決の結果、理事等から異議がなく、原案のとおり可決された。

#### 平成30年度決算について

○議 長

次に、平成30年度決算について説明願います。

○事務局

—平成30年度決算について説明—

資料3 法人化9年収支決算、資料4 財務諸表等により、平成30年度決算は過去最高の昨年度と同規模の純利益（17億3,000万円）を計上したことなどの概要説明を行った。

○議長

次に、各病院の稼働状況について説明願います。

○神宮寺理事

—平成30年度中央病院稼働額等の説明—

入院・外来稼働額は、高い水準で推移し、前年同月と比較して前年を上回る月が多くあった。入院収益稼働額、外来収益稼働額は月平均で前年に比べ、ともに増加した。

平均在院日数は12.5日で昨年度から0.4日減少した。

新規入院患者数は、前年同月比較の累計で190人増となった。長期的には、新規入院患者数、初診外来患者数ともに横ばいとなっている。

1日あたりの平均単価は、入院・外来ともゆるやかに右肩上がりとなっている。

○宮田理事

—平成30年度北病院稼働額等の説明—

入院・外来稼働額は、医療観察の入院患者が減少したことなどにより、前年同月比較の累計で8,699万円減となった。

平均在院日数は、自治体の病院としては60日台で推移すれば平均的とされているので、あと一步といったところである。

新規入院患者数は、前年同月比較の累計で28人減となった。特に夏季の減少が大きく、甲府市内の病院で救急患者の受入を開始したことなどが要因として考えられる。

○議長

平成30年度決算について、意見・質問等がありますか。

○加藤監事

現金及び預金が100億円を超え、とても印象的だと感じた。

○事務局

現金及び預金の104億円と投資有価証券の65億円を合わせた170億円が現在保有している金融資産ということになるが、退職給与引当金61億円や、賞与引当金6億円などが負債としてあるものの、順調に推移していると考えている。

○議長

長期借入金が200億円を超えていることや、次期病院の建設時に手元の資金で対応したいという考えは持っている。

また、今後消費税の引き上げも少なからず影響すると予想される。

○事務局

薬剤や委託料など、107,8 億円が消費税の対象になるので、2 億円は負担増が見込まれる。

○議 長

その他何かありますか。よろしければ、承認ということでよろしいか。

**採決の結果、理事等から異議がなく、原案のとおり可決された。**

その他)

○司 会

最後に、次回理事会の日程について、お諮りしたい。

令和元年10月3日木曜日の16時からということよろしいか。

以上をもちまして、令和元年度第1回理事会を終了とする。